

子どもの部

一茶ゆかりの里四季の俳句会（令和三年七く九月分）

選者 志やくなげ 高野閑林 先生

特選

天高しハードル走の五時間目

東京都 鈴木ひより

給食時間・休み時間・清掃時間も済み五時間目は体育の時間。今日はハードル走です。「天高し」の季語により元氣よくハードルに挑戦した様子が目に浮かぶ気持ちの良い句です。

特選

鯛雲白いわたあめ一面に

東京都 入江瑞羽

高い空に鯛の群に似た雲を鯛雲と言います。今日の空には一面に鯛雲が広がっています。作者はそんな雲を見ながらいつか夏祭りで食べたわたあめを思い出しました。夢を膨らませてくれた句です。

入選

ふわふわとたべればおどるかきごおり

小布施町 西村朔人

入選

雨やんでそらいっぱいいの秋のにじ

東京都 坂田結依子

入選

星月夜早口言葉友だちと

東京都 本間和希